



2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年4月14日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537
 定時株主総会開催予定日 2026年5月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の業績(2025年3月1日~2026年2月28日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	7,252	15.8	431	△26.5	426	△25.9	288	△26.4
2025年2月期	6,265	15.8	586	126.6	575	134.5	391	138.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	159.46	—	20.4	14.8	5.9
2025年2月期	218.31	—	36.6	20.8	9.4

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期 一百万円 2025年2月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	2,888	1,558	54.0	862.87
2025年2月期	2,893	1,270	43.9	703.41

(参考) 自己資本 2026年2月期 1,558百万円 2025年2月期 1,270百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	349	△164	△199	1,646
2025年2月期	370	△57	△333	1,661

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年2月期の業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,589	△9.1	239	△44.5	231	△45.8	160	△44.4	89.02

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「3. 財務諸表及び主な注記 (5) 財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更) をご覧ください。

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年2月期	1,970,000 株	2025年2月期	1,970,000 株
2026年2月期	163,688 株	2025年2月期	163,688 株
2026年2月期	1,806,312 株	2025年2月期	1,792,136 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計上の見積りの変更に関する注記)	10
(持分法損益等の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報の注記)	13
(重要な後発事象の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、2025年10—12月期の四半期別実質GDP成長率は、前四半期のマイナスからプラスに転じております。

企業収益は上場企業を中心に緩やかに改善が続き、雇用情勢は完全失業率及び有効求人倍率ともに横ばい圏内であります。一方、日本では長期金利が上昇傾向にあり、外国為替相場も主要通貨に関して円安方向に推移していることから、輸入物価及び消費者物価は継続して上昇が見込まれる状況にあり、中東情勢を始め世界経済の先行き不透明感が国内景気の悪化につながるリスクが内在しており、今後の動向を注視する必要があります。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当事業年度におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

国内バイクメーカーは、国内市場が若年層の人口減少や燃料価格高騰などの問題を抱える中で、若年層の新規ライダー及び中高年層のリターンライダーの獲得につなげようと新型車を投入しており、海外バイクメーカーは1000ccクラスの大型バイクだけでなく、比較的安価な400cc以下の車種を投入することで幅広い層への拡販を図っております。その結果、2025年の軽二輪・小型二輪の新車販売台数は前年対比で微増となりました。

バイク販売店における中古バイク販売価格は安定しているものの、外国為替相場や関税率の変動等の影響によっては海外バイヤーの購入意欲が減退し、業者間オークション相場にも影響を及ぼす可能性があります。

このような市場環境において、当社はバイクを売却したいユーザーの満足度と事業利益の両立を追求した買取価格帯を設定し、買取成約率と粗利単価の向上の実現に向けた取り組みを実施しております。

また、各種広告媒体への出稿を行い、バイク売却ユーザーが減少傾向にある中でも新たなユーザー層を獲得し、安定的な買取台数を維持する好循環を生み出しておりますが、広告宣伝費の増加にもつながっております。

バイク事業の当事業年度の業績は、売上高6,748百万円（前期比16.5%増）、セグメント利益365百万円（前期比30.0%減）となりました。

(フィットネス事業)

当事業における店舗数は、エニタイムフィットネス4店、ステップゴルフ2店となっており、前期比で増減はありません。

当事業年度でのエニタイムフィットネスの月平均会員数は前期比15.1%増となり、会員数は堅調に推移しましたが、ステップゴルフの月平均会員数は前期と同数に留まりました。また、一部のエニタイムフィットネス店舗においてFC契約更新に伴う設備投資の実施及び会員満足度向上を目的としてマシン入替等を行った結果、減価償却費が増加しております。

フィットネス事業の当事業年度の業績は、売上高504百万円（前期比7.0%増）、セグメント利益66百万円（前期比1.5%増）となりました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は売上高7,252百万円（前期比15.8%増）、営業利益431百万円（前期比26.5%減）、経常利益426百万円（前期比25.9%減）、当期純利益288百万円（前期比26.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末において総資産は2,888百万円となり、前事業年度末と比較して5百万円減少しました。主な要因としては、有形固定資産が40百万円、投資その他の資産が38百万円、売掛金が12百万円、無形固定資産が9百万円増加し、商品が94百万円、現金預金が12百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末において負債は1,329百万円となり、前事業年度末と比較して293百万円減少しました。主な要因としては、預り金が23百万円増加し、1年内償還予定の社債を含む社債が155百万円、未払法人税等が116百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が42百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末において純資産は1,558百万円となり、前事業年度末と比較して288百万円増加しました。要因としては、当期純利益288百万円を計上したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物は1,646百万円(前期は1,661百万円)となっております。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は349百万円(前期は得られた資金370百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前当期純利益422百万円、棚卸資産の減少額95百万円、減価償却費の計上額70百万円、その他の流動負債の増加額45百万円、支出した資金としては法人税等の支払額251百万円、役員賞与引当金の減少額20百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は164百万円(前期は支出した資金は57百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出110百万円、差入保証金の差入による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出10百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は199百万円(前期は支出した資金333百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては長期借入れによる収入200百万円、支出した資金としては長期借入金の返済による支出242百万円、社債の償還による支出155百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

バイク事業は、当社が買い取りしたバイクの多くは業者間オークションに出品し、落札されておりますが、オークションの参加者は国内販売店だけではなく輸出業者、海外業者もいるため、互いに競り合うことで昨今の落札価格の上昇基調に寄与しております。しかしながら、中東紛争の拡大及びその他諸国の政策動向によっては海外業者等の応札意欲が減退し、落札台数の減少、落札価格の下降の可能性があるため、当社では買取台数の減少に伴う販売台数の減少及び販売単価及び粗利単価を想定しております。

フィットネス事業は、エニタイムフィットネス、ステップゴルフともに新規出店等を見込んでおらず、会員数は横ばいで推移することを想定しております。ただ、エニタイムフィットネスはオープンから10年を経過し、今後リニューアルを実施店舗があるため、店舗内装設備、看板等の更新工事を行う必要があり、工事期間中は営業を停止することになります。その結果、月会費収入の減少と減価償却費の増加を見込んでおります。

さらに、当社IT事業部門において新規案件を立ち上げるために多額の先行投資を予定しております。

以上より、2027年2月期は、売上高6,589百万円(前期比9.1%減)、営業利益239百万円(前期比44.5%減)、経常利益231百万円(前期比45.8%減)、当期純利益160百万円(前期比44.4%減)と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本国内でのみ事業を展開しており、また、当社株主のうち外国人株主数も極めて少ないことから、当面の間、日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,674,301	1,661,779
売掛金	70,828	82,940
商品	877,764	783,453
貯蔵品	3,244	2,333
前払費用	24,990	21,616
未収入金	24,019	29,007
その他	705	1,018
流動資産合計	2,675,853	2,582,150
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	292,310	294,747
減価償却累計額	△216,110	△188,219
建物附属設備(純額)	76,199	106,528
構築物	9,930	7,892
減価償却累計額	△8,648	△6,905
構築物(純額)	1,281	987
車両運搬具	37,884	46,842
減価償却累計額	△29,933	△35,539
車両運搬具(純額)	7,950	11,302
工具、器具及び備品	132,850	153,139
減価償却累計額	△103,381	△122,752
工具、器具及び備品(純額)	29,468	30,386
リース資産	27,318	—
減価償却累計額	△25,919	—
リース資産(純額)	1,399	—
建設仮勘定	—	7,230
有形固定資産合計	116,300	156,434
無形固定資産		
ソフトウェア	5,549	15,341
電話加入権	37	37
無形固定資産合計	5,587	15,378
投資その他の資産		
投資有価証券	—	5,062
出資金	402	402
長期貸付金	1,000	2,230
差入保証金	60,265	77,548
長期前払費用	1,426	11,032
繰延税金資産	33,140	38,147
投資その他の資産合計	96,234	134,421
固定資産合計	218,121	306,235
資産合計	2,893,975	2,888,385

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,394	24,302
1年内償還予定の社債	155,000	105,000
1年内返済予定の長期借入金	236,654	276,036
リース債務	1,757	—
未払金	99,767	106,618
未払費用	49,352	61,829
未払法人税等	165,567	49,353
未払消費税等	27,468	31,414
前受金	39,455	40,256
預り金	3,247	27,097
賞与引当金	40,530	37,502
役員賞与引当金	40,000	20,000
その他	970	1,433
流動負債合計	887,164	780,844
固定負債		
社債	185,000	80,000
長期借入金	551,219	468,911
固定負債合計	736,219	548,911
負債合計	1,623,383	1,329,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金		
その他資本剰余金	264,984	264,984
資本剰余金合計	264,984	264,984
利益剰余金		
利益準備金	3,217	3,217
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	830,709	1,118,746
利益剰余金合計	833,926	1,121,964
自己株式	△61,144	△61,144
株主資本合計	1,270,592	1,558,630
純資産合計	1,270,592	1,558,630
負債純資産合計	2,893,975	2,888,385

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
売上高	6,265,109	7,252,961
売上原価		
商品期首棚卸高	664,412	877,764
当期商品仕入高	3,864,347	4,352,054
合計	4,528,760	5,229,819
商品期末棚卸高	877,764	783,453
売上原価合計	3,650,995	4,446,365
売上総利益	2,614,113	2,806,596
販売費及び一般管理費		
販売手数料	145,871	180,401
販売促進費	2,970	3,351
運賃	97,762	131,060
広告宣伝費	492,051	632,936
役員報酬	84,806	92,713
給料及び手当	446,322	459,744
賞与	24,458	35,565
賞与引当金繰入額	40,530	37,502
役員賞与引当金繰入額	40,000	19,000
法定福利費	83,574	88,904
旅費及び交通費	96,565	121,955
減価償却費	40,099	70,405
地代家賃	151,656	172,854
その他	280,535	329,028
販売費及び一般管理費合計	2,027,202	2,375,422
営業利益	586,911	431,173
営業外収益		
受取利息	1,054	3,670
受取手数料	5,130	4,826
受取保険金	850	—
受取賃貸料	—	1,888
雑収入	803	137
営業外収益合計	7,838	10,522
営業外費用		
支払利息	12,755	11,652
社債利息	3,067	2,411
株式報酬費用消滅損	1,624	—
雑損失	1,639	818
営業外費用合計	19,087	14,882
経常利益	575,662	426,814
特別利益		
固定資産売却益	1,787	—
新株予約権戻入益	880	—
特別利益合計	2,667	—
特別損失		
固定資産除却損	320	4,138
特別損失合計	320	4,138
税引前当期純利益	578,009	422,675
法人税、住民税及び事業税	195,298	139,644
法人税等調整額	△8,537	△5,006
法人税等合計	186,760	134,637
当期純利益	391,248	288,037

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年3月1日至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	267,069	267,069	3,217	439,460	442,677	△72,333	870,238	1,000	871,238
当期変動額										
当期純利益					391,248	391,248		391,248		391,248
自己株式の取得							△15	△15		△15
新株予約権の行使		△2,084	△2,084				11,204	9,120	△120	9,000
新株予約権の失効								—	△880	△880
当期変動額合計	—	△2,084	△2,084	—	391,248	391,248	11,189	400,353	△1,000	399,353
当期末残高	232,825	264,984	264,984	3,217	830,709	833,926	△61,144	1,270,592	—	1,270,592

当事業年度(自 2025年3月1日至 2026年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	264,984	264,984	3,217	830,709	833,926	△61,144	1,270,592	—	1,270,592
当期変動額										
当期純利益					288,037	288,037		288,037		288,037
自己株式の取得								—		—
新株予約権の行使								—		—
新株予約権の失効								—		—
当期変動額合計	—	—	—	—	288,037	288,037	—	288,037	—	288,037
当期末残高	232,825	264,984	264,984	3,217	1,118,746	1,121,964	△61,144	1,558,630	—	1,558,630

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	578,009	422,675
減価償却費	40,099	70,405
株式報酬費用	92	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,067	△3,028
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,000	△20,000
受取利息及び受取配当金	△1,054	△3,670
支払利息	12,755	11,652
社債利息	3,067	2,411
株式報酬費用消滅損	1,624	—
新株予約権戻入益	△880	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,787	—
有形固定資産除却損	320	4,138
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,681	△12,112
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△213,877	95,222
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,278	△3,092
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10,684	△2,342
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	17,845	45,197
その他	8,912	3,846
小計	462,108	611,303
利息及び配当金の受取額	1,084	3,632
利息の支払額	△15,833	△13,250
法人税等の支払額	△77,254	△251,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,105	349,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,803
貸付けによる支出	—	△1,780
貸付金の回収による収入	—	190
有形固定資産の取得による支出	△45,656	△110,484
投資有価証券の取得による支出	—	△5,062
無形固定資産の取得による支出	△5,386	△10,823
差入保証金の差入による支出	△5,309	△25,003
差入保証金の回収による収入	256	1,115
その他の支出	—	△10,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,895	△164,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△233,041	△242,926
社債の償還による支出	△202,000	△155,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,155	△1,757
割賦債務の返済による支出	△1,249	—
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	9,000	—
自己株式の取得による支出	△15	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,460	△199,683
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,250	△14,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,682,350	1,661,100
現金及び現金同等物の期末残高	1,661,100	1,646,775

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の変更)

当社は2025年7月10日開催の取締役会で本社移転に関する決議をいたしました。これにより、本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、移転予定日までの期間で減価償却が完了するように中間会計期間より、耐用年数を変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ10,709千円減少しております。

(持分法損益等の注記)

当社は関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別のセグメントから構成されており、「バイク事業」及び「フィットネス事業」を報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

バイク事業は、中古バイクの買取・販売等を行っております。

フィットネス事業は、株式会社Fast Fitness Japanをフランチャイザーとする「エニタイム・フィットネス」フランチャイズ契約を締結し、エニタイムフィットネスFC店の出店、運営を行っております。また、当該事業に含めておりますゴルフスクール事業は、ステップゴルフ株式会社をフランチャイザーとする「ステップゴルフ」及び「ステップゴルフプラス」フランチャイズ契約を締結し、ステップゴルフ及びステップゴルフプラスFC店の出店、運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	5,793,295	471,813	—	6,265,109
セグメント利益	521,754	65,156	—	586,911
セグメント資産	1,060,925	147,561	1,685,488	2,893,975
セグメント負債	245,301	17,173	1,360,908	1,623,383
その他の項目				
減価償却費	27,662	12,436	—	40,099
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	21,621	33,150	—	54,772

(注) 1 セグメント資産の調整額1,685,488千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,652,348千円であります。

2 セグメント負債の調整額1,360,908千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金1,127,873千円であります。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	6,748,120	504,841	—	7,252,961
セグメント利益	365,044	66,129	—	431,173
セグメント資産	1,042,573	174,821	1,670,990	2,888,385
セグメント負債	279,953	19,087	1,030,714	1,329,755
その他の項目				
減価償却費	29,557	40,847	—	70,405
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	54,834	62,404	—	117,239

(注) 1 セグメント資産の調整額1,670,990千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,627,781千円であります。

2 セグメント負債の調整額1,030,714千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金929,947千円であります。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	4,898,996	バイク事業

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	5,889,493	バイク事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

項目	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり純資産額	703.41円	862.87円
1株当たり当期純利益	218.31円	159.46円

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	391,248	288,037
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	391,248	288,037
普通株式の期中平均株式数(株)	1,792,136	1,806,312

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。